

製品名: VAMP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87717**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:13 kDa; Observed MW:13 kDa

抗原情報

遺伝子名	VAMP2
別名	SYB2; VAMP-2; NEDHAHM
遺伝子ID	6844
SwissProt ID	P63027
免疫原	ヒト VAMP2 の合成ペプチド

背景

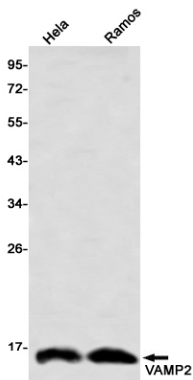
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、小胞関連膜タンパク質（VAMP）/シナプトブレビンファミリーのメンバーです。シ

ナプトブレピン/VAMP、シンタキシン、および 25kD シナプトソーム関連タンパク質 SNAP25 は、シナプス小胞とシナプス前膜のドッキングおよび/または融合に関与するタンパク質複合体の主要構成要素です。この遺伝子は、ドッキングと融合の間の段階で神経伝達物質の放出に関与すると考えられています。このタンパク質は、シンタキシン、25kD シナプトソーム関連タンパク質、およびシナプトタグミンと安定な複合体を形成します。また、シナプトフィジンは明確な複合体を形成します。この遺伝子は、その遺伝子マップ上の位置と、FIMG の病因に関与すると考えられているタイプのシナプス小胞タンパク質をコードしていることから、家族性乳児筋無力症 (FIMG) の有力な候補遺伝子です。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



VAMP2 抗体 (1:1000 希釈) を用いた HeLa, Ramos における VAMP2 のウェスタンブロット検出